



市議会ホームページ



市議会公式Facebook

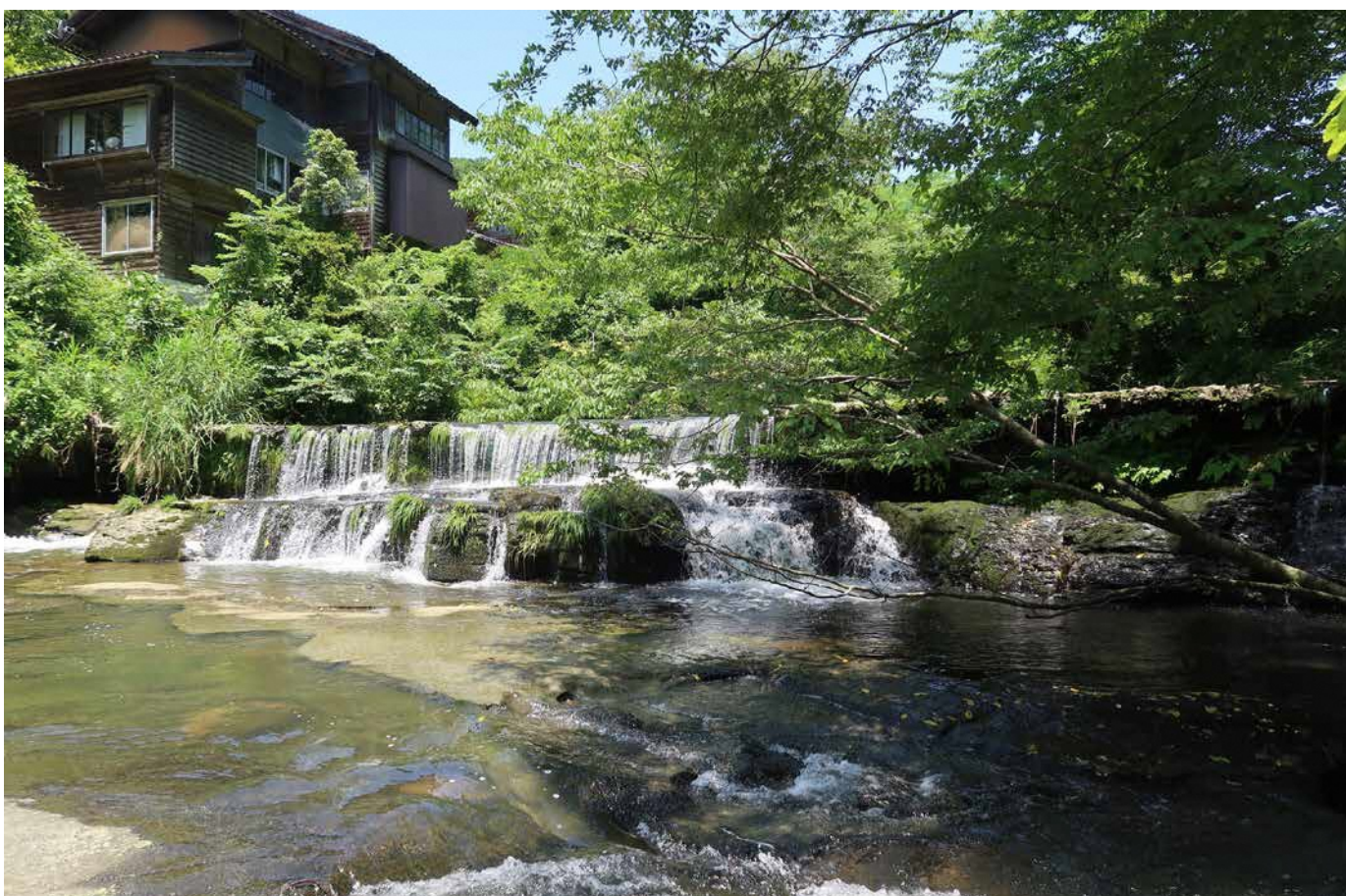


<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

## 清涼をもとめて



(写真：宮島峡 一の滝)



### 5月臨時会

補正予算の概要、審議経過等 … 2

### 6月定例会

補正予算の概要 … 3

永年勤続議員表彰 … 3

審議経過 … 3

審議議案・議員別賛否状況 … 4

代表・一般質問 … 5～11

人事案件 … 11

議長交際費 … 11

委員会報告 … 12

行政視察報告 … 12～13

会務報告 … 13～14

次回議会日程 … 14

編集後記 … 14

# 5月臨時会

物価高騰の影響を受けている市民や事業所を支援するため、5月22日、23日の2日間を会期として5月臨時会を開催しました。

5月臨時会では、令和5年度小矢部市一般会計補正予算や専決処分事項の承認についてなど議案4件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・承認しました。

## ◎ 5月臨時会補正予算の概要

議案第30号 令和5年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）  
補正額 1億6,797.9万円 累計予算額 135億9,797.9万円

### 《主な事業》

- 生産調整推進対策事業費
  - ・原油価格高騰対策支援金 700万円
  - ・肥料価格高騰対策支援金 50万円
- 商工業振興対策費
  - ・プレミアム付商品券発行事業補助金 1,600万円
  - ・高圧電力等利用事業者電気料金支援金 3,300万円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費 6,344万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 1,608.6万円
- 給食センター管理運営費 750万円

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

## 5月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	山田	石間	上田	林	竹松	谷口	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田		
		吉晴	庄二	由美子	登	豊一	巧	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵		
補正予算 議案第30号 令和5年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
専決承認 承認第3号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第9号） （3月27日専決）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○		
	承認第4号 小矢部市税条例の一部改正について （3月31日専決） ・地方税法の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。（令和5年4月1日施行）	承認	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第5号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について （3月31日専決） ・地方税法施行令の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。（令和5年4月1日施行）	承認	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

※補正予算の概要については、上記を参照ください。

## 5月臨時会の審議経過

22日 本会議（提案理由説明）

全員協議会

民生文教常任委員会

総務産業建設常任委員会

23日

委員長会議

議会運営委員会

本会議（質疑・討論・表決他）

## 委員会報告

臨時会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

### 民生文教常任委員会

電力価格をはじめとした物価高騰対策について、迅速かつ確実な支援のため、制度の周知徹底を図ること。また、物価高騰等に左右されることなく、子育て支援など恒常的に安心して生活できる支援制度の創設を国等に働きかけること。

### 総務産業建設常任委員会

今回の補正に係る各事業の実施については、遅滞なく的確に行うこと。また、今後の物価高騰等の社会・経済の動向を注視しながら、適時的確な対策を講ずること。



## 6月定例会

6月16日から29日までの14日間を会期として6月定例会を開催しました。

6月定例会では、令和5年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正、小矢部市固定資産評価員の選任についてなど議案36件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。  
その他、法令等に基づく報告を3件受けたほか、請願1件を審議しました。

### ◎ 6月定例会補正予算の概要

議案第31号 令和5年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

補正額 8,745.1万円 累計予算額 136億8,543万円

#### 《主な事業》

○情報管理費・デジタル化推進事業費	938.1万円
マイナポイント申込支援体制整備や結ネットサービス導入等にかかるもの	
○秘書費	252万円
故 西田東作氏への名誉市民称号贈呈にかかる経費	
○新型コロナウイルスワクチン接種事業費	2,315万円
ワクチン接種体制確保にかかるもの	
○水田農業経営体活性化対策事業費	1,263.3万円
農地利用効率化等支援交付金の支給	
○消雪工施設整備費	1,205.6万円
城山第二消雪施設機械設備工事にかかるもの	

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

## 永年勤続議員表彰

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方が議員表彰を受けられました。

◎ 議員在職二十年以上表彰  
嶋田 幸恵 議員



## 6月定例会の審議経過

16日	本会議（提案理由説明） 全員協議会
19日	議案調査日
20日	議案調査日
21日	議案調査日
22日	議会運営委員会 本会議（代表・一般質問）
23日	本会議（一般質問）
26日	総合計画特別委員会 民生文教常任委員会
27日	交通観光特別委員会 総務産業建設常任委員会
28日	議案調査日
29日	議会運営委員会 委員長会議 全員協議会 本会議（質疑・討論・表決他）

# 6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	山田 吉晴	石間 庄二	上田由美子	林 登	竹松 豊一	谷口 巧	山室 秀隆	加藤 幸雄	義浦 英昭	吉田 康弘	藤本 雅明	白井 中	福島 正力	中田 正樹	石田 義弘	嶋田 幸恵		
補正予算	議案第 31 号	令和 5 年度小矢部市一般会計補正予算 (第 2 号) (補正予算の概要は3ページを参照ください。)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の改正	議案第 32 号	小矢部市サイクリングターミナル条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 33 号	小矢部市税条例の一部改正について ・地方税法及び地方税法施行規則の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 34 号	小矢部市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について ・地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 35 号	小矢部市道の駅条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 36 号	小矢部市高齢者健康交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	
	議案第 37 号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について ・こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行及び児童福祉法の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○		議長は表決に 加わりません	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第 38 号	小矢部市附属機関条例の一部改正について ・こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 39 号	小矢部市体育施設条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第 40 号	クロスランドおやべ条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	×	○	○	○	○			○	○	×	○	○	○	○	×
	議案第 41 号	小矢部運動公園体育施設条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第 42 号	小矢部市文化スポーツセンター条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第 43 号	アートハウスおやべ条例の一部改正について ・第3次小矢部市行財政改革実施計画に基づき、公共施設使用料等を見直すことに伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	×	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	×	○
	その他	議案第 44 号	財産の取得について ・消防ポンプ自動車1台の更新に伴う購入契約に係るもの。	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号		財産の取得について ・スクールバス1台の更新に伴う購入契約に係るもの。	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第 4 号	小矢部市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第 5 号～ 同意第 24 号	小矢部市農業委員会委員の任命について (人事案件の概要は11ページを参照ください。)	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第 1 号	「日本政府に、核兵器禁止条約加入の準備を開始し、締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書」を採択されるよう求める請願 請願者 小矢部平和委員会 代表世話人 堀内喜亨 (紹介議員 上田由美子)	×	×	○	×	×	×	×		×		×	×	×	×	×	×	×	

# 6月定例会で報告された事項

報告	報告第 1 号	令和4年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について
	報告第 2 号	令和4年度小矢部市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	報告第 3 号	令和4年度小矢部市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

◎第7次総合計画前期実施計画について  
 ◎おやべの3大祭りとおやべの魅力向上について  
 ◎公共交通とチョイソコおやべについて



会派「新政」  
 加藤 幸雄 議員



**【質問】** 第7次総合計画の人口減対策について問う。

**【市長】** まちづくりの基本指標として、令和10年の目標人口を2万8千200人としているが、令和2年の国勢調査では目標を下回っており、大変残念に感じている。後期実施計画策定に当たっては、これまで実施してきた事業の検証をしっかりと行い、より効果的な人口減少対策事業を着実に展開していく。

**【質問】** 後期実施計画の財政計画について問う。

**【市長】** 財政計画の歳入では、割合が多い市税と地方交付税を的確に見込むことが重要と考える。また、後期実施計画期間中に想定される新学校給食センター整備、中学校大規模改修、本庁舎耐震化対策などの投資的事業については、基金の積み立てを進めており、過度な市債の借り入れに頼らない財政運営を行っていく。財政調整基金は令和4年度末時点で12億2千万円を確保しており、市税等の収入減少や物価高騰による支出増加にも対

応できると考えている。

**【質問】** 今後の発展を見据えた取り組みについて問う。

**【市長】** 石動地区や津沢地区は、いずれも居住誘導区域に指定されており、コンパクトなまちづくりを目指す観点から、にぎわいのある魅力あふれる市街地になるよう努力していく。インターチェンジ周辺の国道等の整備促進については、本市の発展を図る上で必要不可欠なものであり、今後、さらなる整備促進に向けて国や県に強く働きかけてゆく。また、企業誘致についても、私が先頭に立って積極的に誘致活動を行っていく。

**【質問】** 小矢部三大祭の在り方について問う。

**【市長】** 小矢部三大祭は少子高齢化による担い手不足など問題を抱えているが、伝統的な祭りの保存・伝承にできる限りの支援をして地域の活性化及び交流人口の増加を目指していく。  
**【質問】** 国際交流とおやべの魅力向上について問う。  
**【市長】** 国際交流については、小

矢部三大祭などの文化交流やホッケー体験会、交流イベント開催等に積極的に支援したい。また、「住んでみたい、住み続けたい、住んでよかった」と思ってもらえることが魅力向上につながるかと考えており、そのためには市民の声を直接聞き、政策として練り上げ、実践していくことが肝心であると考えている。

**【質問】** 公共交通「チョイソコおやべ」への変更理由と選定理由について問う。

**【市長】** これまで、メルバスや乗合タクシーでは空車運行や経費の増大、停留所の増設要望など課題があった。このことを踏まえ、財政負担をできるだけ抑えつつサービスを充実させることを念頭に、高齢者等の交通弱者の移動需要に対応し、効率的な運行を可能とする区域運行型のAオンデマンド交通を主体とした運行形態へ転換を図ることとした。また、選定理由としては、導入実績が多く、運行中止された例がないこと、高齢者等に配慮したコールセンターの運

営が良いことなどがあげられる。  
**【質問】** タクシー業界に悪影響を及ぼすのではないか。

**【市長】** 「チョイソコおやべ」を安価なタクシーと受け止められ、タクシー事業者への影響を懸念する声もあるが、運行業務の委託がタクシー事業者の経営を支える側面もあると確認している。実証運行業務の委託を念頭におき、その影響を見極めながら本格運行に向けて取組を進めたい。

**【質問】** 「チョイソコおやべ」は持続可能な公共交通なのか。

**【市長】** 「チョイソコおやべ」は市内全域を区域運行することで公共交通空白地域の解消や高齢者等の外出促進に寄与し、スポンサー制度により市営バス事業の収支改善が図られる等の特徴を有するため、導入により地域経済を支える地域公共交通の実現が果たされれば、持続可能性は自ずと高まると考える。



「チョイソコおやべ」は停留所から停留所までを乗り合いで送迎するサービスです。

代表質問





会派「未来共創」  
なかだ 未来共創

中田 正樹 議員

▼動画配信中



**【質問】** 令和5年3月には、北陸新幹線が敦賀まで延伸開業する。IRいしかわ、ハピラインふくと連携し、石動駅の利便性向上への見通しについて問う。

**【市長】** これまでのあいの風とやま鉄道利用促進協議会に加えて、昨年度から本市、富山県、あいの風とやま鉄道の三者による実務者レベルでの協議の場を設置し、意見交換等を行っている。あいの風とやま鉄道によれば、3県を跨ぐ運行は想定されていないと伺っているが、今後も連携を図り、動向を注視していく。

**【質問】** 当市におけるマイナンバーカードの普及率の現状を問う。

**【市長】** 4月末現在の交付率は、74.0%で、全国平均の69.7%を上回っており、県内10位である。

**【質問】** まさに課題山積という状況の中、6月2日にマイナンバー法等改正法案が国会にて可決成立し、令和6年秋の健康保険証の廃止に向けて進み始めた。健康保険証及び公金受取口座の紐づけについて、本市では問題は起きていないか。

**【市長】** 厚労省から全保険者に対し、個人番号登録の事務手続に関する再点検等の依頼があり、確認したところ、本市の国民健康保険については、別人を登録した事例は確認されなかった。公金受取口座については、自治体では確認はできないが、現在のところ市民から、これら誤登録に係る不具合の発生や不適切な閲覧による個人情報漏えい等の相談は受けていない。

**【質問】** 医療機関等におけるマイナ保険証の読み取り端末の整備状況、利用状況について問う。

**【市長】** 6月11日現在、市内15医療施設、11歯科診療所、9薬局の8割を超える医療機関等で利用が可能である。マイナ保険証の利用率は、把握していない。また、現時点で医療機関等から問題や課題等の指摘、報告、要望等は伺っていない。

**【質問】** 国はマイナンバーカードの交付率を地方交付税の算定に反映させる考えを示し、令和5、6年度は500億円のカード利活用特別分を財源に加え、カード交

付率の上位3分の1の市町村に交付率に応じた割増率により算定し、上乘せされる。本市は上位3分の1に入っているのか。

**【市長】** 普通交付税の交付額は、7月下旬に確定する。現在は算定の根拠となる基礎数値等について、国・県と確認作業を行っている。5月末時点のカード交付率が基礎数値となるが、現時点で全国市町村の交付率が示されていないため、上位3分の1に位置をしているかは不明だが、入ることを期待している。

**【質問】** 現時点での市当局の生成AIに対する認識と自治体業務での活用方法について問う。また、利用については一定のルールや規制を設けることなども必要になってくるのではないか。

**【市長】** 用途は多様で、様々な分野における活用が期待をできる一方、正確性の観点や著作権を侵害する可能性などの課題もあると認識している。今後、どの分野でどのように活用していけば良いか検討を行いたい。なお、活用に当たり、様々な課題を整

理し、データの取扱いや生成物の利用方法等を示したガイドラインの策定が必要と考えている。

**【質問】** 国から指示のある様々な計画書の策定や議会答弁などで生成AIを利用すれば、業務の効率化につながる。今後は、どのようなツールを上手に使いこなす自治体と使いこなせない自治体との競争となり、生産性の格差が顕著になってくる。そういう意味では、IT人材の確保も重要な課題である。

**【市長】** 答弁書作成における生成AIの活用については、様々な議論がある。人間の思考や判断を助けるという面では非常に大きな力になる。一方で、自治体の意思決定に関わるような使用に対しては、色々と問題があるため、現状においては時期尚早であり、より慎重な検討が必要と考える。

生成AIとは、数秒から数分で様々なコンテンツを生成できるAIを指します。



生成AIとは、数秒から数分で様々なコンテンツを生成できるAIを指します。

- ◎あいの風とやま鉄道について
- ◎マイナンバーカードについて
- ◎生成AIの利活用について

◎農業の担い手の育成・確保について  
◎食と農に関連した移住・定住の取組みについて



山田 吉晴 議員



▼動画配信中

**質問** 農業の担い手の育成・確保にあたり、本市の「人・農地プラン」の取組状況について問う。

**産業建設部長**

地域における農業の将来の在り方などを明確化する「人・農地プラン」については、令和5年1月以降に開催された集落ごとの冬期座談会において、農業委員会と連携して、耕作者ごとに農地を色分けした地図を配布し、地域で話し合いを行ってもらった。この話し合いの場が、地域における将来の農地の担い手の有無や、農地の集積や集約化に向けた課題などを共有する機会になったと考えている。

**質問** 市外・県外から就農希望者を呼び込むための取組みについて、本市の見解を問う。

**産業建設部長**

都市部から地方へ移住し、有機農業などの様々な農業形態に興味を持たれる方が増えていることは認識している。特に中山間地域では、自然豊かな環境で農業ができる利点もあることから、農業による関係人口の増加に向けて、都市農村交流事業などの機会を捉え、情報発信に努めたい。また、農業に興味や意欲のある方が市内にある農地付き空き家へ移住し、半農半Xを実現しやすくなっていることから、空き家に関する情報提供等も市全体で取り組んでいきたい。

**質問** 就農希望者に向けた移住・定住サイトでの情報発信について問う。

**企画政策部長**

就農を目的とした地域おこし協力隊員は、就農活動や研修のみならず、農作業体験の状況や、農業の担い手の確保に向けた情報発信も任務としている。こうした地域おこし協力隊員の活動を移住・定住サイトにおいて発信するとともに、移住フェアにおいても相談者に対して直接発信できると考えている。



若手農業者の活躍が期待されています。

一般質問

◎地震を含む自然災害の備えと対応について  
◎クロスランドの更なる発展をするためについて  
◎一級河川合又川の改修の見直しについて



白井 中 議員



▼動画配信中

**質問** 全国的に地震や集中豪雨などの自然災害が進発しているが、本市の避難場所は足りているのか。

**総務部長**

本市の指定避難所は50か所あり、収容可能人数は1万4千784人である。本市において最も大きな被害となる邑知潟断層帯を震源とする地震の被害想定では、避難者数は1万3千313人であることから、収容人数は充足していると考えられるが、昨今の多発化・激甚化する災害の被害状況を踏まえ、引き続き、より多くの避難所の確保に努めていきたい。

**質問** クロスランドおやべの利用状況について問う。

**教員会事務局長**

屋内施設、屋外施設を合わせた年間の入場者数は、令和元年度は25万4千811人、令和2年度は13万8千335人、令和3年度は16万5千962人、令和4年度は25万7千275人であり、コロナ禍前の状況に戻りつつあると考える。

**質問** クロスランドおやべの今後の整備・改修計画について問う。



クロスランドおやべ

令和5年度は、老朽化した冷温水発生機更新工事を実施する予定である。令和6年度以降は、メインホール、セレナホールの特定天井改修工事を含め、施設としての機能維持費用などを勘案しつつ優先度を決めて、整備・改修していきたい。

**質問** 一級河川合又川の改修の見直しについて問う。

**産業建設部長**

河川管理者の県によると、令和4年度から河川整備の目標を明確にするための河川整備計画の策定に着手し、今後、河川整備計画の内容について国と協議を行っていくと聞いている。改修の早期実現を求める地元の声もあることから、引き続き、重点要望事項として県に要望していきたい。



- ◎ AI（人工知能）の活用について
- ◎ シティプロモーション戦略について
- ◎ ウォーカブルシティの推進について
- ◎ 人口2万人時代を見据えた学校教育のあり方について



林 英史  
議員

**質問** AI関連のスタートアップ企業の誘致、創業支援に取り組むべきでは。

**産業建設部長** 事業者のニーズ等の把握に努め、企業立地セミナーなどの自治体と企業のマッチングイベントの機会を捉えて誘致を進めていきたい。

**質問** 本市の日常業務では、どのように生成AIの活用に取り組んでいくのか。

**企画政策部長** 国・県や他自治体の動向も注視した上で、検討を行う。

**質問** 学校現場ではどうか。

**教育委員会事務局長** 今後、校舎や市ICT調査研究委員会でも取り上げ、利活用について検討したい。

**質問** 首都圏在住の学生団体と共創して実施する事業費が計上されていたが、具体的にどのような事業か。

**企画政策部長** 本年8月21日から27日の1週間、「日本橋とやま館」において本市をPRするイベントを実施する。事業内容は東京の学生団体の企画提案によるもので、昨年度実施したインス

タグラムフォトコンテスト入賞作品の展示や祭りの映像の放映を行うとともに、ハトムギ関連商品など市特産品の販売を実施する予定である。

**質問** 子どもの意見を尊重し、政策に反映させることは重要である。子どもたちにとってどのような学校教育が最善なのか、どのような環境が最善なのか、これを考えることが大事なので、子どもの意見を聞く機会をつくってもらえないか。

**教育長** 子どもの意見を聞き、それを教育に反映していくシステムは、まだ小矢部市にはない。今後、どのような場において子どもの意見を集めることが望ましいのかなどを研究し、教育委員会、校長会等を通じて議論を進めたい。



「子どもの権利条約」4つの原則の1つに「子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）」があります。

- ◎ 健幸への取り組みについて
- ◎ 教育行政について
- ◎ 県立高校通学区域について
- ◎ 生成AIの活用について



竹松 豊一  
議員

**質問** 高齢者へのeスポーツ推進について見解を問う。

**民生部長** 高齢者のフレイル予防や認知機能向上のほか、ゲームを通じて様々な人と関わることで社会参加が行えるなど、様々な効果が期待できるので、第9期高齢者保健福祉計画を策定する中で、高齢者や関係団体の意見を聞き、普及啓発に向けて検討していきたい。

**質問** GIGAスクール構想とアナログ的な読み書きの大切さを含めた総合的な教育への見解を問う。

**教育委員会事務局長** アナログとデジタルの的確な使い分けを踏まえたICT教育を行うため、校長会やICT調査研究委員会の意見から、予測困難な社会をたくましく生きるために必要な教育の推進を図っていく。

**質問** 教育現場の声をより多く取り入れるため、現職世代を含めた教職員出身の市職員増員への見解を問う。

**教育委員会事務局長** 教職員出身者は学校現場と行政職員の橋渡し役的な存在として、

また教職員の人事面の調整役として重要な役割を担っており、欠くことのできない存在である。県教育委員会等の状況も確認しながら検討していきたい。

**質問** 鉄道とバスの通学定期券の格差を是正するため、バス路線だけでも助成ができないか見解を問う。

**民生部長** 民営バスの通学定期券購入助成については、関係市とも協議しながら、検討を進めていきたい。

**質問** 県立高校への県外からの生徒の受け入れについての見解を問う。

**教育長** 県外からの生徒を石動高校で受け入れられれば、生徒数が減少を続ける中、ホッケー部の部員確保という面からも、本市の活性化に大きくつながると思うが、課題もあり、県教育委員会において検討すべきものと考えている。



砺波高校通学の場合、バスの3か月定期券の購入費用は鉄道と比較すると、約2倍の差があります。





上田由美子 議員

▼動画配信中



- ◎障害者の通勤とオンデマンド交通について
- ◎放課後児童クラブについて
- ◎特別障害者手当の支給について
- ◎不登校児の居場所づくりについて

**質問** 10月の第3期実証運行から平日9時台と16時台のメルバスが運行されず、障害者作業所に通う人は、オンデマンド交通を利用することになる。その場合、費用がこれまでの月額500円から月額8千円に増えるが、市の考えを問う。

**民生部長**

本市では、障害者の通所経費の2分の1（上限2万円）を補助しているが、自己負担額の増加により通所意欲低下が懸念されるため、利便性向上も考慮しつつ、より良い支援の在り方を検討したい。

**質問** 放課後児童クラブでは、定員を超える実人数の支援員が働いている。週1日や2日勤務の人や、1日4時間勤務のためダブルワークの人もいる。支援員には専門的知識が必要である。正規職員を採用できないか。

**民生部長** 現在、公立の放課後児童クラブは、民間企業に業務委託しており、その民間企業では今後も正規職員の採用は検討されていない。支援員が希望する勤務体系で人員配置を行う。

**質問** 特別障害者手当の支給要件と支給額を問う。また、この制度を知らない人が多いため、広く知らせることが必要ではないか。

**民生部長** 特別障害者手当は、身体または精神の重度障害のため、日常生活で常時特別の介護が必要な人に所得補償として、現在、月額2万7千800円支給されている。また、市広報に掲載するなど周知に努めたい。

**質問** 不登校の児童生徒や保護者に、フリースクール等を紹介しているか。教育機会確保法では、学校以外の学びの場が重要であるとし、必要な情報提供などを行うものとしている。

**教育委員会事務局長** 本市教育支援センターのカウンセラーから相談者へ紹介した実績は4件あり、個別に話を伺い、最良の方策を共に探す努力をしている。



市教育支援センター「ふれんど」

一般質問

- ◎特措法改正に対応した空き家対策の実施について
- ◎地図混乱地域の解消に向けた取組について
- ◎米粉の需要と供給の拡大について



石間庄二 議員

▼動画配信中



**質問** 今国会で成立した「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正により、きれいな歯並びの住宅地に再生できると思うが、市の考えを問う。

**副市長**

今回の改正により、空き家の有効活用や適切な維持管理の問題解決に向けた手段が増えたことは有意義なことであると考える。

**質問** この改正により、小矢部市の関連条例の改正が必要ではないか。

**産業建設部長**

本法改正内容の「空家等活用促進区域」の指定については、ある一定の区域を対象に法令上の手続を行って指定するもので、現状では条例改正は必要がないと理解している。

**質問** 市政制定後、市が主体となって行う地籍調査をどのように取り組んできて、今後、地図混乱地域の解消に向けてどう取り組むのか。

**産業建設部長** 本市では、土地改良事業や土地区画整理事業等により地図混乱地域の解消を行っており、地籍調査事業単体では、令和2年

度から矢波・屋波牧地区において山林を中心に着手している。地図混乱地域の解消にあたっては、多くの予算と人員、土地所有者等の協力が必要であり、相当な期間を要するので、今後、着実な地籍調査の実施と併せ、できる限り早急な解消策の一つとして、今年度、国が事業主体となる地図作成事業について、富山地方

法務局へ新たに重点要望を行うこととしている。

**質問** 米粉の利用促進、販路拡大に向けた学校給食での米粉パンの導入拡大などの検討の進捗状況を問う。

**産業建設部長** 引き続き、米粉の利用促進や販路拡大に向け、JAいなば等の関係機関と連携し、情報収集に努めながら、米粉用米の供給体制づくりも含めて米粉の需要拡大などに関する検討を継続していきたい。



米粉の薄力粉

- ◎人事について
- ◎こども家庭課の取り組みについて
- ◎介護予防について
- ◎無形文化財 雅楽について
- ◎安全で安心な街づくりについて



嶋田 幸恵 議員



▼動画配信中

**質問** ここ数年、課長職一つ取っても一年という短期間で異動になっているが、市業務を反映させる人事と云えるのか。

**総務部長** 人事異動については、常に適材適所を念頭に実施している。

**質問** 今年4月に新しくスタートしたこども家庭課の現況を問う。

**民生部長** 「こども課」を「こども家庭課」として再編し、健康福祉課で実施していた不妊治療費・不育症治療費助成事業、産前・産後サポート事業など主に周産期に係る母子保健事業を移管した。今後、より一層子育てに関する相談体制の充実に取り組みたい。

**質問** 介護予防について、コロナ禍の3年間で高齢者の状況に変化はあったか。

**民生部長** 新型コロナウイルス感染症による健康状況への大きな影響は見られなかった。

**質問** 公民館等に軽運動ができる器具はあるか。また、備品の偏りはないか。

**教養委員会事務局長** 介護に特化した備品は健康福祉課で、幅広い方が使用する備品は公民館で用意している。また、軽スポーツ用具をおやべスポーツクラブ等から借用し、大会を開催している公民館もある。健康体操等の備品は、今一度調査し、適正に配置したい。

**質問** 同行援護者の養成について問う。

**民生部長** 一般の方が同行援護者になるには、同行援護従業者養成研修を受講する必要があるので、視聴覚障害者の社会参加促進のため、市ホームページ等を活用し養成研修の広報に努める。



雅楽は平成10年に小矢部市の無形文化財に指定されています。

**教養委員会事務局長** 募集時期や広報の方法を見直し、広く周知できるように努める。

**質問** 雅楽について、今年度の体験教室の応募がなかったと聞いたが、今後の考え方を問う。

**市長** 地方創生臨時交付金の大幅な縮小、廃止が見込まれているが、その場合の影響について問う。

**市長** 地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症に対応するための臨時的な事業やトイレの洋式化インフルエンザ予防接種助成費等に充当してきた。縮小、廃止となった場合、必要となる既存事業への充分については、一般財源から措置せざるを得ないため、本市の財政状況にも少なからず影響がある。このことから、今年度の重点要望において、地域経済の回復に向けて必要な緊急経済対策を継続されるように国に強く訴えていきたい。

**質問** 小矢部市小中学校統廃合の日程について問う。

**教育長** 日程や目標については小中学校再編推進計画で定めた。

**質問** 昨年度の一等米比率が目標を大きく下回った要因と具体的対策について問う。

- ◎今後の財政運営について
- ◎教育環境整備について
- ◎農業について



石田 義弘 議員



▼動画配信中

**産業建設部長** 要因は、田植え

**産業建設部長** 本市では、燃料の高騰対策として作付面積10アール当たり200円を支援し、県では、肥料、燃料のコスト低減に取り組む農家に対して作付面積10アール当たり500円の支援を行う。

**質問** 米の生産者への支援策について問う。

**市長** 地方創生臨時交付金の大幅な縮小、廃止が見込まれているが、その場合の影響について問う。

**市長** 地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症に対応するための臨時的な事業やトイレの洋式化インフルエンザ予防接種助成費等に充当してきた。縮小、廃止となった場合、必要となる既存事業への充分については、一般財源から措置せざるを得ないため、本市の財政状況にも少なからず影響がある。このことから、今年度の重点要望において、地域経済の回復に向けて必要な緊急経済対策を継続されるように国に強く訴えていきたい。

**質問** 小矢部市小中学校統廃合の日程について問う。

**教育長** 日程や目標については小中学校再編推進計画で定めた。

**質問** 昨年度の一等米比率が目標を大きく下回った要因と具体的対策について問う。



間断かん水とは、イネの育成途中に、田に水を満たした状態と、干した状態とを数日おきに繰り返すことを言います。



- ◎学校教育の充実について
- ◎健康寿命延伸について
- ◎移住・定住の促進について



▼動画配信中



藤本 雅明 議員

**質問** いじめの認知件数の過去5年間の推移を問う。

**教育委員会事務局長** 平成30年度が41件、令和元年度が45件、令和2年度が56件、令和3年度が67件、令和4年度が94件となっている。

**質問** いじめが増加しているが、どのような指導をしているのかを問う。

**教育委員会事務局長** あらゆる活動の場で子供と触れ合いながら些細な兆候を見逃さないように努め、兆候が見られた場合は、担任や学年主任等に速やかに伝える体制を整えている。また、児童生徒に対しては、担任が日々の連絡帳や生活の記録のチェックを行う中で、少しでも気になる点があれば、個別に声をかけ、必要に応じて面談を行うよう指導を行っている。

**質問** 昨年の8月下旬から今年の3月まで一部の部活動で地域部活動のモデル事業を実施されていたが、その効果と課題について問う。

**教育長** 効果として、部活動顧問である教員の休日

の時間外勤務時間が前年度と比較して約6割削減した。課題については、平日の顧問と休日の地域指導者の間で情報共有が十分されず、生徒が練習方法に戸惑ったこと、地域指導者の指導方法に生徒や保護者が不安を感じる場面があったことがあげられる。

**質問** 小中学校の教員の時間外勤務状況と過労死ライ

ンの月80時間を超えて勤務された教員数を問う。

**教育長** 本市における令和4年度の教員の月平均時間外勤務時間は、小学校で42時間、中学校で57.6時間である。また、月80時間を超える時間外勤務をした教員は小学校で月平均約5人、中学校で月平均約12人となっている。



いじめは人権侵害にあたる、絶対に許されない行為です。

## 人事案件

◎小矢部市固定資産評価員の選任

橋本 信之 氏 (矢水町)

◎小矢部市農業委員の任命

石丸 正明 氏 (東福町)

中田 栄信 氏 (名畑)

福原 智子 氏 (中央町)

加藤 裕 氏 (水島)

唐島 隆夫 氏 (浅地)

吉江 秀一 氏 (下中)

山本 克博 氏 (末友)

加賀谷 良雄 氏 (蓮沼)

宮西 勝昇 氏 (五社)

西村 一成 氏 (茄子島)

水上 龍二 氏 (田川)

三輪 和雄 氏 (蓑輪)

渋谷 達也 氏 (桜町)

高橋 賢治 氏 (芹川)

## 令和5年度 議長交際費支出内訳表

令和5年4月～令和5年6月 (単位:円)

区分	件数	金額	備考
1 慶弔・見舞費	3	41,000	
① 御祝・寸志	1	30,000	祝賀会、記念行事、大会祝い金等
② 激励金	2	11,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典			香典、生花等
2 協賛費	3	12,892	各種協賛費等
3 会費・懇談会費	4	33,000	各種団体との会議、懇親会費等
4 その他	3	34,230	訪問時・来客時記念品、お土産等
合計	13	121,122	
令和5年度予算額		1,000,000	
執行率		12.11%	

※小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

田悟 敏子 氏 (畠中町)  
和田 由美子 氏 (石坂)  
和浦 正 氏 (下川崎)  
大浦 邦夫 氏 (二ノ滝)  
中川 邦夫 氏 (二ノ滝)  
山崎 外喜雄 氏 (峯坪野)  
木村 鉄雄 氏 (荒間)

## 委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

### 民生文教常任委員会

一点目は、公共施設の利用料金の見直しについて、利用者目線に立った方法により、広く周知を図るとともに、利用促進に向けた取り組みをしっかりと検討すること。また、開館時間等については、利用実態を把握し、見直しも含めて適切な運営に努めること。

二点目は、新学校給食センター整備について、将来にわたる子供たちの安全安心な給食提供のため、基本設計をはじめ施設整備にあたり、コスト意識を持ちながら、よりよい施設となるよう十分に精査して進めること。



### 総務産業建設常任委員会

一点目は、防災について、昨日も県東部で集中豪雨が発生するなど、梅雨末期に多発する線状降水帯や台風、また、小矢部市においても、大きな揺れが観測された群発している地震等、自然災害から市民の命と暮らしを守るため、今一度、危機管理体制の点検を行うこと。

二点目は、森林環境税の導入に伴い、その目的を踏まえ、既存の政策等と併せて、より一層の森林施策の充実を図ること。

### ライブ配信(議会中継)のお知らせ

小矢部市議会では、より多くの皆さんに定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、YouTubeでの録画配信に加えて、令和4年6月からライブ配信(議会中継)を実施しています。小矢部市議会のYouTubeページからぜひご覧ください。



## 行政視察報告

### 総務産業建設常任委員会

【日程】 5月10・12日

【視察先】 農研機構(茨城県つくば市)

(株)波里(栃木県佐野市)

群馬県伊勢崎市

群馬県前橋市

【委員名】 谷口 巧 石間庄二

中田正樹 福島正力

白井 中 吉田康弘

山室秀隆 上田由美子

### ●今後のスマート農業について

農研機構では、ロボット、AI、IoT等先端技術を活用するスマート農業を導入することにより、生産性向上と持続的な食料システムの両立をイノベーションで実現することを目指し、全国で技術実証が行われていました。



### ●米粉の展望について

(株)波里では、米粉の利用拡大に向け、米粉の特性を活かした様々な製品を

販売し、新たな米粉の活用方法についても、利用者の意見を取り入れながら、米粉の普及に取り組んでいました。

### ●サテライトオフィス、支店・営業所等開設促進奨励金について

伊勢崎市では、テレワークやサテライトオフィス等の働き方の多様化が注目されている中、奨励金制度の設置により、市外企業の事業所の誘致や、地の雇用創出につなげるように努められていました。



### ●中小企業振興基本条例の制定の経緯や効果について

前橋市では、地域内の経済的循環等を目的として、中小企業振興基本条例を制定し、市、経済団体、金融機関、教育機関、中小企業者等、及び市民のそれぞれが地域経済活性化の役割を担うべき主体と位置づけ、文字通り市全体で、事業者の多くを占める中小企業を支援するよう取り組んでいました。



## 民生文教常任委員会

【日程】 5月16～18日

【視察先】 大阪府箕面市

兵庫県小野市

滋賀県草津市

【委員名】 竹松豊一 山田吉晴

嶋田幸恵 石田義弘

藤本雅明 義浦英昭

加藤幸雄 林 登

### ●箕面子どもステップアップ調査について／箕面子育て応援ブック「SMILE」について

箕面市では、箕面子どもステップアップ調査により学力・体力・生活状況調査を継続的かつ客観的に把握・分析にすることで、授業改善や児童生徒の学力・体力向上、生活習慣の定着につなげられていました。

箕面子育て応援ブック「SMILE」については、子供の成長のタイミングごとに一貫性のある情報を提供するために役立てられています。



### ●夢と希望の教育の推進について

小野市では、「超スマート社会を豊かに生きる力を育む」を基本理念に、脳科学理論に基づき、おの検定や小中一貫教育、教育環境の整備等に取り組み、児童生徒の知力と心の育成を図る夢と希望の教育を推進されています。



### ●健幸都市づくりの取り組みについて

草津市では、平成28年に健幸都市宣言を実施されて以来、健幸イベントの開催や公園・体育施設の整備に加え、産学公民が連携した健康施策の推進など健幸都市づくりに取り組まれた結果、令和5年3月現在で235か所の企業や事業所から賛同を得られています。また、令和5年度においては、「くさつ健幸ガイドブック」を作成され、まち・ひと・しごとの健幸づくりに努められています。

## ■ 会務報告

令和5年3月23日から令和5年6月15日まで

年月日	件名	摘要	開催地
5.3.23	広報広聴委員会理事会	・議会だよりNo 209 発刊について他	第二委員会室
4. 6	北信越市議会議長会定期総会	・令和4年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・令和5年度事業計画及び予算	富山市
4.18	広報広聴委員会理事会	・議会だよりNo 209 発刊について他	第二委員会室
4.21	全員協議会	・小矢部三大祭について他1件報告	第一委員会室
4.28	総合計画特別委員会	・第7次小矢部市総合計画前期実施計画の取組状況について	第一委員会室
5. 2	交通観光特別委員会	・現地視察 ・A1オンデマンド交通第1期実証運行の利用状況及び第2期実証運行住民説明会日程(案)について他2件報告	第一委員会室他
	総務産業建設常任委員会	・令和6年度採用職員の募集について	第一委員会室
5. 8	富山県西部市議会議長会総会	・令和4年度事業報告及び収支決算報告 ・令和5年度事業計画及び予算	高岡市
5. 9	民生文教常任委員会	・令和4年度マイナンバーカード普及促進事業について	第一委員会室
5.10 ～.12	総務産業建設常任委員会行政視察	・今後のスマート農業について ・米粉の展望について ・サテライトオフィス、支店・営業所等開設設置促進奨励金について ・中小企業振興基本条例の制定の経緯や効果について	茨城県つくば市 栃木県佐野市 群馬県伊勢崎市 群馬県前橋市
5.13	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」停車実現期成同盟会総会	・活動報告、新高岡駅の現状及び今後の活動方針について	高岡市
5.15	議会運営委員会	・5月臨時会提出議案について他	第二委員会室

# 会務報告つづき

年月日	件名	摘要	開催地
5.16 ～.18	民生文教常任委員会行政視察	・箕面子どもステップアップ調査について ・箕面子育て応援ブック「SMILE」について ・夢と希望の教育の推進について ・健幸都市づくりの取り組みについて	大阪府箕面市 兵庫県小野市 滋賀県草津市
5.19	砺波地方衛生施設組合議会臨時会	・監査委員の選任同意について他2議案	高岡市
5.22	議会運営委員会	・5月臨時会の委員会付託について	第二委員会室
	本会議	・5月臨時会（議案第30号、承認第3号～承認第5号の提案理由説明について）	議場
	全員協議会	・提出議案等について	第一委員会室
	民生文教常任委員会	・付託議案の審査	第一委員会室
	総務産業建設常任委員会	・付託議案の審査	第一委員会室
5.23	砺波地域消防組合議会臨時会	・財産の取得について他1議案	砺波市
	委員長会議	・委員会の報告について	第二委員会室
	議会運営委員会	・議事日程等について	第二委員会室
	本会議	・5月臨時会（議案第30号、承認第3号～承認第5号について議決）	議場
5.29	広報広聴委員会理事会	・議会広報の改善、方向性について	第二委員会室
6. 8	議会運営委員会	・令和5年6月定例会提出議案等について	第二委員会室
6.13	富山県選出国會議員と富山県市議会議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
6.14	全国市議会議長会定期総会	・令和3年度会計決算認定及び令和5年度会計予算について等	東京都

## 9月定例会の日程（予定）

- 6日(水) 10時 本会議
- 8日(金) 10時 本会議(提案理由説明)
- 11日(月) 議案調査日
- 12日(火) 議案調査日
- 13日(水) 議案調査日
- 14日(木) 9時 議会運営委員会
- 15日(金) 10時 本会議(代表・一般質問)
- 19日(火) 10時 総合計画特別委員会
- 20日(水) 10時 交通観光特別委員会
- 21日(木) 10時 民生文教常任委員会
- 22日(金) 10時 議案調査日
- 25日(月) 10時 議会運営委員会
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論・表決)

※市議会では、市民の皆様のお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日から2類から5類となり、様々な社会活動、イベント・祭りもコロナ禍前のように戻ってきました。コロナ感染症が終息した訳ではありませんが、マスクをはずされる方も増え、笑顔での交流が増えたように感じます。地域活性化のため、議会としても積極的に活動していきたいと思えます。

さて議会だよりは、次号から名称を変更し表紙・デザインを一新します。内容も特集ページを作成し、市民の声を取り上げ、議会の情報発信も分かりやすくなるようリニューアルします。多くの市民の皆様は、手にとつて読んでもらえるよう、よりよい紙面の作成を心掛けていきますのでよろしくお願ひします。  
(広報広聴委員会委員 竹松記)

次回の「議会だより」は、令和5年11月の予定です。

